

令和2年度 谷戸のびのび保育園 事業報告書

1 令和2年度の概要

保育園は子どもの生活の大半を過ごす場所であり、乳幼児期は人間形成の基盤を作る大切な時期でもあるためコロナ禍ではあったが、感染対策を十分に行いながら、出来る限りでの通常に近い形での保育を行った。基準より多くの職員を配置しているため、子ども一人一人に寄り添ったゆとりある保育を行うことはできた。また勤務時間内に事務時間を確保することができているので職員自身も余裕を持って業務を行う事が出来き、働きやすい職場環境の継続ができています。新型コロナウイルス感染拡大予防のため行事などを見直す機会があったが、内容を工夫することで子どもも大人も楽しめる新たな契機となった。

「谷戸すくすく保育園」が分園として認可保育園に移行したことで、一つの園として保育面・環境・面等で協力し合い取り充実した保育を行う事が出来た。

2 振り返り

(1) 保育目標の実践

- ・保育士ひとりひとりが保育目標を概ね実践することができた
- ・コロナ禍の中、感染対策を行いながら、様々な行事、園外活動の形態の変更を行ないながら、出来る限り例年と変わらないよう豊かな経験ができる機会を取り入れた。
- ・今年度から新設した人工芝や別棟を活用することにより、保育の幅を広げることができた。
- ・分園本園の園児・職員が協力し合う事で互いに刺激しながら保育することができ、分園児の本園への進級もスムーズに行う事が出来た、

(2) 保護者支援

- ・事業計画に従い支援を行った。コロナウイルス感染という特別の出来事に対し園で出来る最大限の感染対策を行い、保護者に周知し理解してもらい安心してもらうようにした、
- ・コロナウイルス感染予防のため保育園が臨時休園となる事があったが、各家庭の事情を考慮して特別保育を行った。
- ・孤独な育児とならないよう休園期間中もホームページを通して、保護者に保育者の思いなどを発信した。
- ・幼児の給食費を1日単位で徴収することにより、公平感を打ち出した

(3) 地域の子育て支援

- ・保育園児の感染予防をさいゆうせんとしたため外部との接触は極力避けるため特別な子育て支援は行なわなかった。

(4) 職員構成

各クラスには経験・年齢を考慮したバランスの良い保育士を配置し、分園と共にリーダー層が安定したクラス運営を行い、産休・育休の職員がいる中でも安定した職員体制を作ることが出来た。

3 児童利用状況

月極利用児童受託状況

本園	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	6人	15人	15人	26人	26人	26人	114人
4月利用者	6人	15人	15人	26人	25人	23人	110人

10月利用者	6人	15人	15人	26人	25人	26人	113人
--------	----	-----	-----	-----	-----	-----	------

分園	0歳児	1歳児	2歳児				合計
定員	5人	10人	11人				26人
4月利用者	5人	10人	11人				99人
10月利用者	5人	10人	11人				99人

保育園開園時間

標準時間基本保育時間	7:00~18:00
標準時間延長保育時間	18:00~20:00
短時間基本保育時間	8:30~16:30
短時間延長保育時間	上記以外を超えた時間

5 職員（4月1日時点）

常勤職員 26名				パート職員 23名			
施設長	1名						
保育士	20名	看護師	1名	保育士	12名	保育補助	2名
栄養士	1名	事務員	1名				
調理師	2名			調理員	6名		
				嘱託医	3名		

※ 常勤保育士1名 5月より病欠・産休・育休を取得

6 運営報告

〈1〉会議内容

施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議			26日	31日	9月1日	25日	30日	27日	28日	29日	26日	27日
リーダー一会議	9日		3日	14日	25日	18日	15日	20日	18日	18日	12日	18日
幼児			8日					30日				
乳児			9日									
給食	23日	25日	23日	28日	25日	23日	27日	24日	21日	26日	22日	23日
運営委員							16日					書面

〈2〉係内容

衛生管理者	日々の点検を中心にマニュアルに基づき園内の衛生に努めた
食品衛生管理者	マニュアルに従いアレルギー対応や衛生の徹底に努めた
防火管理者	消防設備点検報告書を消防車へ届けた・BCPの作成
研修委員	園内研修の企画立案を行った（別紙参照）
親睦会	職員のコミュニケーションを深める会

7 保育計画

〈1〉子どもの保育目標

新型コロナウイルス感染というイレギュラーなできごとはあったが、そのような状況でも「こころもげんきなこども」を保育目標として、心身ともに健やかに成長出来るよう、年齢ごとの指導計画に従って保育を行った

〈2〉年間行事報告

新型コロナ感染拡大予防を第一に考え、年間行事予定をもとに行事内容を変更・縮小して実施した。感染対策をしっかりと行ったうえでの行事だったので保護者には好評だった

・中止した行事

入園式・敬老会・保護者参加参観・バス遠足・バザー・獅子舞・人参堀

・縮小した行事

夕涼み会 保護者は参加せず平日園児のみの開催

運動会 年中・年長児のみ園庭で参加人数を制限して行う

発表会 2歳児からクラスごと参加人数を制限して行う

卒園式 保護者2名までで園庭で行う

おとまり会 デイキャンプに変更

子どもだけが参加する行事についてはクラスごとに行った

〈3〉食育実施報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、計画を変更しての食育活動となった

（1）野菜の栽培・収穫・試食

園全体で野菜を植えて観察し、年長児が収穫試食した。

（2）調理保育

感染予防のため年度途中までは調理保育をひかえていたが、後半年長組がパンやピザなどの調理保育を行った。発酵の様子も見る事ができて食への関心が深まった

- ・年長児は遠足でじゃがいも堀り・さつまいも堀りを行い野菜への関心を深める機会を作った

〈4〉保健実施報告

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	中止	中止	18日	2日	6日	17日	22日	17日	3日	21日	4日	4日
園児				2日			22日					
歯科			30日					17日				
眼科						2日						
歯科衛生								12日中止				
職員健診						30日						
職員検便	11日	14日	11日	9日	8日	10日	8日	12日	10日	21日	11日	11日

〈5〉各種点検報告

- 危機管理 各担当が安全点検・事故防止・SIDSチェックを行った
衛生管理 各担当が衛生管理・個人衛生管理・検便細菌検査チェックを行った
健康管理 保健関係・身体測定・健康診断実施済み
運営委管理 自己評価済み

〈6〉環境整備

各種マニュアルに従い環境整備に努めた。

8 危機管理

〈防災〉避難訓練 6/30・7/31・9/1・9/25・11/4・11/30・12/2・1/28・2/27・3/30

〈怪我・事故防止〉①受診件数 4月0件・5月0件・6月0件・7月1件・8月1件・9月0件
・10月1件・11月1件・12月2件・1月5件・2月0件・3月1件
打撲・口唇打撲など計12件
②インシデント6月5件・7月5件・8月2件・9月7件
10月9件・11月6件・12月2件・1月0件・2月0件・3月0件 計81件
③アクシデント4月11件・6月4件・6月16件・7月17件・8月11件・9月14
件・10月31件・11月21件・12月23件・1月10件・2月12件・3月23件・計193件

〈防犯〉職員会議にて危険個所の確認

〈光化学スモッグ〉学校情報をもとに行動した

9 ボランティア・実習生の受け入れ

〈ボランティア〉新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

〈職場体験〉新型コロナウイルス感染拡大予防のため辞退

〈実習生〉新型コロナウイルス感染拡大予防のため受け入れ中止

10 職員育成と研修報告

〈研修内容〉

- ① 園内研修
- | | | |
|-------|--|---------------|
| 4/24 | 休園中のため各自自己研鑽 | |
| 5/27 | 衛生指導・嘔吐・下痢時の対応について | 講師：田中看護師 |
| 6/26 | 加配児童へのアプローチ | のびのび保育園での実践報告 |
| 7/31 | 在宅ワーク報告 | |
| 9/1 | 「体操」「手遊び」紹介 | 各クラスより |
| 9/25 | 災害時の職員の動きの確認 | |
| 10/30 | 「アンガーマネジメント」 | 外部講師 |
| 11/27 | 事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン | |
| 12/28 | 感染症の登園基準について | |
| 1・2月 | 緊急事態宣言発令中のため各自「西東京市保育のガイドライン」を読み込む | |
| 3/27 | ヒヤリハットの見直し反省 | |
| 2/28 | 公園の危険な箇所の確認 | 各クラスより |
| 3/31 | 令和元年度アクシデント集計と各クラスからの多かった怪我やその後の対応について | 各クラスより |
- ②外部研修 正規職員が合計20件の外部研修に参加した

11 地域交流報告

新型コロナウイルス感染拡大予防のため園庭開放を行わず、ハロウィンの時は例年お菓子だったが、感染が心配なのでティッシュペーパーを近所に配ることにした

12 小学校との連携

児童要録・就学支援シートを各小学校へ提出した

13 要支援児童への対応

- ・気になる園児に対しひいらぎに連絡し巡回指導をしてもらった
- ・職員会議時にケース会議を開き情報共有を行った
- ・児童相談所と情報共有しながら要保護児童の対応を行った